



つなぐ

Vol.135

2019
Winter

平成31年1月1日

発行人 長野県民生委員児童委員
協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 広報委員会
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号
(長野県社会福祉協議会内)

新年のごあいさつ

長野県知事 阿部 守一 氏 / 県民児連会長 伊藤 篤志 氏

Contents

- ◆ 新年のごあいさつ 2
- ◆ 平成30年度民生委員児童委員研修 3
(1期目)報告
- ◆ 新年特別寄稿
民生児童委員の活動の喜びとやりがい 4~5
- ◆ 民児協訪問
宮田村・飯綱町 6~7
- ◆ 平成30年度全国民生委員児童委員 8
大会(沖縄県)報告

2019 新年のごあいさつ



長野県知事
阿部 守一

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日々、住民の身近な相談相手として、地域福祉の中心的役割を担っていただいていることに、対し心より感謝申し上げます。

さて、私は昨年8月の県知事選挙で負託をいただき、三期目の県政を担わせていただくこととなりました。知事としての職責の重さを改めて自覚し、使命感を持って職務を遂行してまいります。もとより県政は、県民の皆様のため存在であり、引き続き、「共感と対話」、「県民参加と協働」を基本と

し、県民の皆様の思いに常に寄り添い、共に考え行動する「県民起点の県政」を進めてまいります。

グローバル化の進展やテクノロジーの進化、人口減少や人生100年時代の到来など、時代の大きな転換点にある中、昨年4月に「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現を目標とする県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」をスタートさせました。「学びと自治の力」を推進エンジンとして、まずは、「子どもや若者が希望を持てる」、「歳を重ねても安心して暮らせる」、「元気な産業が暮らしを支える」の3つの観点から、政策の実現を図ってまいります。

まず、子どもや若者が希望を持てる政策としては、今日的な学びの意義等を県民の皆様と考える「学びの県づくりフォーラム」の開催、教育と先端的な技術を融合したEdTech（エド

テック）の推進、広い視野を持った人材を育成するための高校生の海外留学支援などに取り組みます。また、本県が主導し設立した「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」に参加する全国の自治体と連携し、自然保育・教育の充実・普及を進めます。

次に、歳を重ねても安心して暮らせる政策として、県全体を対象とする地域医療構想調整会議の設置や地域包括ケア体制の強化など医療・介護サービスの充実に取り組みます。また、暮らしを支える地域の移動手段を確保するため、広域的・基幹的なバス路線の維持・充実の方策の検討を進めてまいります。本年も明るい話題の多い、穏やかな一年となりますことを心より願います。知事としての責任を果たしてまいります。結びに、今年一年の皆様のご健康と御多幸をお祈り申し上げます、新年の御挨拶といたします。



民生委員
生協長
児童会
長
伊藤 篤志

伊藤 篤志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、夏場の酷暑に加え、相次ぐ台風の影響、県北部や北海道をはじめ各地で発生した地震など自然災害に悩まされた一年でした。災害時には、民生児童委員の活動も多岐にわたりますので、ご苦労された皆さんも多かったのではないでしょう。

さて、民生委員制度創設100周年を

機に策定された「100周年活動強化方策」がスタートしました。全県児童連では、「地域版活動強化方策」の策定を呼びかけています。県民児童連としての活動方策についてはお示ししましたので、単位児童協ごとに委員の意見を反映させながら地域の特性を生かした活動方策を作成されますよう提案いたします。

いま、国では地域共生社会実現に向けた取り組みを推進しています。「我が事・丸ごと」の地域づくり・包括的な支援体制の整備を進めるため、住民の身近な圏域において、分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行うとしています。民

生児童委員は、最前線で地域の福祉課題・生活課題を把握できる立場にあり、関係機関から大きな期待が寄せられています。関係機関が連携・協働することでネットワーク機能を発揮し、地域における助け合い活動を後押しすることにも大きな意義があります。

今年には委員改選の年に当たります。委員活動に理解が深まり、地域の皆さんとも顔なじみになった時期に委員を辞めてしまうのは、地域福祉にとっても大きな損失です。ぜひ「継続」を！

結びに、皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



泉恵造研修企画工房代表社員
泉 恵造 氏
全国社会福祉協議会退職後、研修企画工房を立ち上げ全国各地で社会福祉関連団体職員等の研修講師経験多数。

会冒頭で講師の泉氏は、民生児童委員制度100周年記念全国モニター調査の結果をあげ、「1期〜2期の委員が5割を超えていく。6割以上は委員になってよかったと答えている」と切り出しました。「みなさんはどんな気持ちですか」と会場に投げかけました。

民生児童委員の継続は仲間作りから

民生委員児童委員 1期目のための研修を、講師に泉恵造氏を迎え、10月に県下4会場で開催しました。10月15日の中信会場(キッセイ文化ホール)の研修を要約して報告します。



▲民生委員児童委員研修(1期目)のパネルディスカッションの様子(中信会場)

の機関、福祉事務所などの行政機関に相談している実態も。結果を踏まえ、課題をひとりでは抱えないためにどうすればいいのか、パネルディスカッションへと進めました。

最後に、泉氏は「地域住民によりそって必要に応じて専門職プロにつなぐこと。みなさんは地域課題の最終解決者ではない。自分の時間も大切にして委員活動を」とコメント。そして、「皆さん自身の心の灯を住民の方に向けて灯していただきたい。委員活動はご縁をつなぐ出会いの場、一人でも多くの方とご縁をつないでいっていただきたい」とくりました。

パネルディスカッション

※パネルディスカッションでの、登壇者それぞれの経験談やアドバイスの部を要約して掲載します。



松本市 幸川地区民児協
西村正治さん

地域になんらかの形で貢献できればという思いで委員になりました。地域の方を知らなければ、ここでやめたら無責任かなと思うように。元気でいる姿を見ると自分も役に立っているという自負も生まれます。福祉について自分で学んでいくことが大事ですし、包括支援センターや市町村の福祉担当の方と仲良くなれば安心して活動できます。訪問した時は相手方の話をじっくり聞いてやさしく答えてあげることが長く続ける秘訣です。私自身は農業で気晴らしをしています。深刻に背負うことはないの、気楽にやっています。



駒ヶ根市 民児協
征矢公男さん

特に記憶に残っているのは、親子二人暮らしの母親から「明日食べる物が無い。今夜の灯油がない」と言われたこと。行政担当に緊急で連絡が取れ、食料と灯油が届いてホッとしました。あの時は助かったと言われ、うれしかった。地域住民とは、交流が多ければ多いほどいいと思います。二期目には経験を生かして進めるようになりました。勤めていた時は地域との付き合いがありました。いま、お年寄りや子供に気楽に声をかけられるようになりました。あいさつをして、いろんな話ができるようになりました。一期目の経験を二期目に生かせるため、活動はだんだん楽になってくると思います。



辰野町 民児協
芝崎光男さん

地域住民との距離は、出しやばらず引込みすぎず付き合いをさせていただいています。もし声がかかれば全力で対応するように心がけています。その加減は難しいですが、テクニクは少しわかっています。楽になったのは二期目に入ってからです。二期目で肩の力が抜けたことがはっきりわかりました。大切なことは地域の方や見守りをしている方から信頼されること。地域から「あなたなら何でもはなせる」「いつ来る?」と言われるようになりました。二期目以上やってみると、自分自身の経験を話して、自分から話しかけて、仲間に入っていくことが大事。大勢の仲間を頼りにして、ぜひ楽しみながら二期目以上やってみてください。



木曾町 民児協
平井敏幸さん

統合失調症の娘と父とのやり取りで、最初は父親に病気じゃないと言いつ返されました。1年かけて、互いに信用し合っただけで娘の状況がわかり、役場につなげることができました。顔だけでなく心が通わないとだめだと感じました。私は、民生児童委員になって初めて、親子で生活している人が多く、引きこもりの場合、親の年金で生活している様子など、地域の課題が見えてきました。民生児童委員同士仲間での連絡をとってやっていくことが大事です。心にしまわずにみんなに相談すること。二期目にはストレスが少なくなっています。自分のペースでやっていただければいいと思います。

委員の活動の喜びとやりがい

ひろば

4人の民生児童委員の皆さんに寄稿いただきました。

心をもって、適確な「つなぎ役」に



赤羽 敦子さん
安曇野市豊科地区
民生児童委員

長年勤めた職場を定年退職し、地域の方へ恩返しができればと思ってお引き受けしました。初めての定例会の席上、増田会長の「民生児童委員はつなぎ役。一人を抱え込まないように」との言葉に、肩の荷がおりて頑張れそうな気持ちになりました。

新任委員として1カ月半が経過したある日、高齢者の在宅福祉の件で相談がありました。内容を受け止め、すぐに地域包括支援センターにつないだ結果、デイサービスに通所できるように、「つなぐ」ことの大切さを実感し、ご家族には笑顔が戻り、地域の方からも「Aさんが赤羽さんに相談して良かった」と言っていたよ」と声を掛けていただき、やり甲斐を感じた瞬間でした。これからもスキルアップに努め、適確な「つなぎ役」でありたいと思います。福祉課題の解決に向けて、心安い地区会では先輩委員の経験をお聞きし、知恵を出し合い深く掘り下げて話すことができる場です。また、豊科地区民児協は62人の大所帯ですが、定例会や諸行事において委員相互の信頼関係を築き、より良い活動につなげて行きたいと思えます。

心をもって地域の方々と関わり、子どもには身近な存在として、「見守り活動」を続け、ライフワークでもある「お話し会」や「放課後子ども教室」等自主活動も大切にしながら2期目に向け、ますます活動の充実を図って行きたいと思えます。

脚下^{きゃっか}照^{しょう}顧^ご、そして灯台守^{とうだいまもり}を目指して



田村 義明さん
茅野市ちの地区
民生児童委員

「気づき」を智慧に変え、地域共生社会づくり、あたたかな社会を作る誓いをたてた。「我が事、丸ごと」の働きかけに受け止めてくれる区民がいる。委員冥利である。

買い物帰りの坂道で「おばあさん乗っていかない」声をかける。「ありがと。足腰鍛えなければねえ、いいよ、行って」自身の健康を考えての行動だ。すごいな、一安心。数力国の海外赴任で他国の方々からいただいた親切、会話の重要性は痛く感じている。長年留守をしてきた恩返しの時が来たが、団地の宿命、高齢化率は限界集落近くになり、高齢者一人を0.9人が支えている状況。見守り、寄り添い、身近な相談相手になり、関係機関へのつなぎ役でありたいと心に決めてきた。

担当区内の全住民に携帯番号を公開。365日24時間、相談事が入る。お助け隊やふれあいの居場所、城山の縁側、保育園で子ども達とのふれあい「また来てね」と元気をもらえる。

二期にわたって多くの人に出会った。毎回研修のある定例会、県内交流会での共通の悩み解消、共感、喜びに通じる体験ができることにある。

平成25年改選時のメンバーで『ここにこ会』を結成した。退任者も現役委員も地域を支え合う住み良いまちづくりの裾野を広げる存在でありたいと、会員は体力づくりを始めた。まずは委員相互の信頼協力が根底にある。

昨年、茅野市民児協60周年記念式典、講演、対談があり、



※改選期に向けて

大変！をやりがいに！



田島 弘さん
佐久市白田地区
民生児童委員

4期目、11年がたった私。改めて顧みたま時、十分にその任を果たせたのだろうか？

「民生児童委員の仕事は大変だ！」の声をたくさん聞きますが、私はそれほどに思ったことはありませんでした。「民生児童委員信条」の5項目を念頭に、淡々と自分の裁量で対応してきたせいでしょうか。

訪問連絡活動、安否確認、声掛けなど。気楽に地域の皆さんと交流し、相談に応じ、すぐ行政や包括支援センターにつなぎ、自分は早く楽になる…。そんなずるい性のせいかもしれません。しかし自分の能力が及ばない役職になったらさあ大変。いかに

勉強嫌いな私でも、資料を読み、勉強して臨まなければなりません。またアパートなどが多い地区の委員は訪問活動など大変さが察せられます。

私は4期で98人の委員の皆さんと出会い、誼を交わしてきました。定例会は仲間としてホッと和める雰囲気が好きです。春、夏、年末の懇親会。年に一度の研修旅行など個性豊かな皆と入魂になり、教えてもらった数々は大きな喜びです。

地域の皆さんから「お役目ごころうさん」の言葉。支援を必要とする高齢者の方から「ありがとう」「おかげさまで」と感謝されたときには、「民生児童委員をやって良かった」とやりがいを感じます。

1期目の方はぜひ2期目を務めていただきたいと思えます。「大変だ！」ではなく「やりがいと喜び」を感じて。

民生児童委員になって体験したこと



渡邊 幸子さん
長野市三輪地区
民生児童委員

民生児童委員にと突然話をいただいたときは驚きました。私にはとても務まらないのでお断りました。断り切れず引き受けました。

新任委員研修や定例会を経て1カ月少し経ったときのことです。外出先に友愛活動で担当しているAさん宅が火事だとの報告。一人暮らしの90才の女性です。近所の方が雪かき中、煙に気づき119番通報し消し止められたそうです。消防車・救急車・パトカーが何台も止まっていて、物々しい雰囲気。前任の委員と地区代表の委員に立ち会っていただき、とても心強かったです。搬送されたときはすでに亡く

なっていたそうです。前日に訪問した時にはお元気だったのでとてもショックでした。映画を観たのもとても勉強になりました。「夜間保育園」は、いろいろな事情のある子ども達が安心して夜「も」過ごせる24時間保育園の話。それまで知りませんでした。「君の笑顔に会いたくて」は更生保護に取り組む保護司の物語。とても感動しました。

10月にホクト文化ホールで1期目研修があり、先輩委員からのエールでの「情けは人の為ならず」「聞くは一時の恥」。参考にさせていただきます。もう3年目に入りました。少しは成長したのであれば良いのですが、仲間との絆が力強い味方です。



訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協
だより



宮田村民生児童委員協議会



▲数でも勝る女性の活動が特に活発。会長の小林研二さんは前列中央

「身の丈の活動」をモットーに、地区イベント
オリジナリティいっぱいこの取り組み

定例会はコーヒーの香りから始まります。障がい者施設の売上にいくらかでも貢献できればと、小林研二会長の発案で「親愛の里シンフォニー」の出張喫茶をお願いしています。委員がコーヒー片手に席に着くと、自然にリラックスした雰囲気。こうして始まる定例会も少し変わっています。会長は挨拶だけで、司会は委員の交代制。「役職は関係なくみんな一列という意

識になれる」と、相手の立場になってみることで、ひいては民生児童委員としての資質向上にもつながるとの考えからです。「今までの会長の皆さんとは、同じようにはできない。身の丈にあった活動で十分」が小林会長の方針。まず委員が自身（身の丈）を知る意味もあり、小林会長は就任早々「民生委員について思うこと」というレポート提出を全委員に求めました。「会長のワンマンだ」という批判もあった「そうですが、レポートを元に個別懇談をし、ベテラン委員には新人への配慮を頼むなど、信頼関係を築く土台づくりをしました」。

人口9千人前後で推移、若年人口の多さでは県内有数という宮田村。コンパクトな村内に古くからの農業地帯とグローバルな優良企業のある工業地帯が混ざっているのが特徴です。団地中心の地区、三世帯同居の多い地区と、事情はまちまち。「毎月何かイベントを行う会を立ち上げ、芋煮会が好評だった。次はクリスマス会」「お茶のみ会開催。毎回百円徴収してたまった豚汁やおにぎりのふるまいを」



▲定例会前、出前喫茶でコーヒーを買ってにっこの会長と新谷保子副会長。

飯綱町民生児童委員協議会

定例会はグループ形式で 福祉に情熱をもって楽しく活動を

定例会の席の配置は、6、7人の班ごとに着席します。「リラックスした楽しい会に」と話すのは平成22年から会長を務める田中昇一さん。飲み物も自由に取ることができ、途中でトイレに立つのもOKとのこと。関係機関からの提
供情報についても、即、近くの人と意見交換でき、和やかな雰囲気
で会は進みます。

「福祉に情熱をもって楽しく活動
を」と、協議会として年間計画



▲民生児童委員32人、主任児童委員2人。会長の田中昇一さんは前列中央

を立てて活動しています。グループでの意見交換を中心に、今年度は事例研究、日帰りのハンセン病と人権学習、老人ホーム視察などを行って来ました。8月には信濃町、小川村との上水内郡合同研修会を開催。「地域共生社会における民生委員の役割」をテーマにして、互いの活動の現状把握や関係機関との連携について8、9人のグループで意見交換をしました。

「飯綱町でも包括支援センターや社会福祉協議会と密な連携を心がけている」と田中さん。社協が旗振り役となつて「地域福祉推進委員会」通称「つながり隊」を立ち上げ、今年度中にその役割を明確化し、民生児童委員会と連携した体制作りを固める予定とのこと
です。「つなぐためには傾聴を心がけ、住民に信頼され相談しやすい存在に」とその役割を果たそうとしていきます。特に飯綱町は雪が多く、高齢化率も36.8%。一人暮らしだけでなく、昼間一人になる高齢者の見守りも課題です。雪かきなど、近所の人たちとの助け合いの仕組みづくりに尽力しています。「飯綱町民生委員だより」を年数回発行し、住民への啓発活動にも努めています。

小学校は2校。学校運営委員会



▲5つのグループで行う定例会の様子

には主任児童委員が参加します。信州型コミュニケーションスクールの一環で、学校のボランティアルームに自由に入出入りできるようなものもなっています。また社協のボランティアシニアセンターの「こども食堂」にも夏休みに協力。「民生児童委員も一人十色の時代。それぞれの関心を生かして、個々にボランティヤ活動をしています。そうした経験を民生児童委員活動に生かしている」と田中さん。
町長や副町長とも顔の見える関係となつており、4月のキックオフや12月の忘年会において地域の課題をダイレクトに情報交換し、施策が実現することもしばしば。行政や福祉関係機関と顔の見える関係作りを土台として、34人の委員が飯綱町の地域福祉を支えています。



表紙写真紹介 雪中の桜

撮影

押田写真クラブ会長(長野市)
和田賦雄(わだますお)さん

飯山市郊外の国道117号線(愛称フラワーロード)沿いの千曲河川敷に立つ桜木。

profile 民生児童委員からの推薦で今回は押田写真クラブの和田会長に写真を提供いただきました。現在会員は15人。年に4回の撮影会の作品は、押田公民館に展示公開されています。和田会長は、十代のころ、カメラ好きの友達に触発されて始めたそうですが、写真歴は半世紀に及びます。



全国社会福祉協議会会長表彰（民生委員・児童委員功労）9名

平成30年11月22日（木） 全国社会福祉大会において表彰

豊田 好文（平谷村） 田島 龍二（大鹿村） 田上 弘司（上松町）
 横山 百合子（松本市） 中野 京子（松本市） 神尾 みち子（上田市）
 山田 守二（安曇野市） 笠原 健市（安曇野市） ほか1名

敬称略

報告

平成30年度 全国民生委員児童委員大会（沖縄県）

第87回全国民生委員児童委員大会は9月27・28日の2日間の予定で沖縄県において開催されました。台風24号の進路を気にしながら、会場となる沖縄コンベンションセンターへ向かい、全国から3千人、長野県からは伊藤篤志会長をはじめ県役員など22人が参加しました。

初日27日には、沖縄の紅型（びんがた）染めの布を振りながらの熱烈な歓迎を受け会場入りしました。開催地沖縄県民児協の藏當会長の開会あいさつから始まり、民生委員児童委員信条朗読、得能全国民児連会長の式辞、加藤厚生労働大臣、斎藤全国社協会長などのあいさつ。そして全国民児連会長表彰に続き、特別講義、大会宣言、民生委員の歌斉唱、琉球舞踊のアトラクションがあり式典が閉じられました。

特別講義は、「世界制覇への道～頂点のこだわり～」をテーマに佐久本嗣男氏が講義を行いました。氏は沖縄劉衛流空手古武道龍鳳会長で空手形競技の世界大会7連覇した人物です。その経験から「負けから学んだこと」「指導者は常に前に立て」などの話があり、合間には空手世界選手権形競技で連覇中の喜友名諒氏による迫力ある形が披露されました。

式典の途中、心配していました猛烈な台風24号の接近により2日目の活動交流集会・シンポジウムを中止する旨発表されました。急な日程変更のため、飛行機のチケットが手配できず、10月1日夜の便で沖縄那覇空港を立ち、羽田からバスで翌2日の未明に長野へ到着しました。

今回の全国大会では、人が飛ばされるような経験のない暴風や沖縄の歴史・文化・自然に触れました。さらに辺野古海岸も訪れ、沖縄が抱えている複雑な一面を垣間見ることができ、色々と考えさせられる良い機会となりました。

なお、次回全国大会は10月に福島県で開催されます。



長野県から参加した民生児童委員のみなさん

（報告／事務局）



茅野市の記念式典及び住みよい社会をつくる地域共生記念講演フォーラムの様子



（深澤 保雄）

年が明け「平成」と言う元号の時代も残り僅か。天皇陛下の退位に伴い何の元号に変わるのか注目すべき所でもある。

今年には全国一斉の民生委員児童委員の改選の年でもある。茅野市では半数の委員が入れ替わりと予想されるが他の市町村はどうだろうか？

昨年11月末、茅野市市制60周年に併せて茅野市民生児童委員協議会では、記念式典及び住みよい社会をつくる地域共生記念講演フォーラムを開きました。諏訪6市町村はじめ長野や松本、飯田、佐久と遠方より民生委員が駆けつけて頂き大変有難うございました誌面を借りて御礼申し上げます。

第1部は記念式典（表彰含む）活動報告 第2部では地域共生をテーマに篠原先生（諏訪東京理科大学教授）鎌田先生（諏訪中央病院名誉院長）の講演、そして第3部は両先生を中心にシンポジウムと長い一日であったが「実」のあるフォーラムであった。

60年と言うひとつの節目として先人の民生委員に感謝しつつ時代のニーズに合った地域住民主体のネットワーク作りには民生委員として「一役」を担えればと思つた。

年頭に当たり今年も皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



編集委員
リレー日記